

令和7年(1~12月)冷凍食品の生産・消費について(速報)

一般社団法人 日本冷凍食品協会

令和7年冷凍食品の生産・消費について(速報)は以下の通りです。

1. 国内生産

(1) 総論

当協会調べによる令和7年(1~12月)の我が国の冷凍食品国内生産は、数量が1,574,172トン(対前年比(以下、省略)102.4%)と前年を上回った。また、金額(工場出荷額)は8,577億円(106.4%)と前年に引き続き、最高額を更新した。

表-1

年度	工場数		企業数		数量		金額	
		対前年比		対前年比	トン	対前年比	億円	対前年比
2021年	432	97.7%	365	98.6%	1,587,091	102.3%	7,343	104.8%
2022	428	99.1%	358	98.1%	1,598,808	100.7%	7,639	104.0%
2023	422	98.6%	351	98.0%	1,545,568	96.7%	7,799	102.1%
2024	413	97.9%	341	97.2%	1,537,854	99.5%	8,064	103.4%
2025	404	97.8%	326	95.6%	1,574,172	102.4%	8,577	106.4%

(2) 業務用・家庭用別

業務用は、数量が813,787トン(101.9%)、金額は4,119億円(103.1%)と、数量・金額ともに増加した。

家庭用も、数量が760,385トン(102.8%)、金額は4,458億円(109.6%)と、数量・金額ともに増加した。

業務用と家庭用の比率は、数量ベースではそれぞれ51.7%、48.3%(前年51.9%、48.1%)と前年に引き続き業務用が上回った。金額ベースでは48.0%、52.0%(前年49.6%、50.4%)の割合で、引き続き家庭用が業務用を上回っている。

表-2 数量

年度	業務用			家庭用		
	トン	対前年比	構成比	トン	対前年比	構成比
2021年	788,838	101.1%	49.7%	798,253	103.5%	50.3%
2022	793,812	100.6%	49.7%	804,996	100.8%	50.3%
2023	788,455	99.3%	51.0%	757,113	94.1%	49.0%
2024	798,225	101.2%	51.9%	739,629	97.7%	48.1%
2025	813,787	101.9%	51.7%	760,385	102.8%	48.3%

表-3 金額

年度	業務用			家庭用		
	百万円	対前年比	構成比	百万円	対前年比	構成比
2021年	342,762	104.5%	46.7%	391,504	105.1%	53.3%
2022	357,781	104.4%	46.8%	406,145	103.7%	53.2%
2023	380,355	106.3%	48.8%	399,550	98.4%	51.2%
2024	399,617	105.1%	49.6%	406,833	101.8%	50.4%
2025	411,893	103.1%	48.0%	445,826	109.6%	52.0%

(3)品目別

大分類の品目別生産量では、大半を占める調理食品(102.8%)、菓子類(103.7%)、畜産物(103.3%)が増加。農産物(97.8%)、水産物(92.4%)は減少した。

小分類の品目で前年に対して目立って増加したのは、カツ(117.0%)、ピラフ類(116.7%)、ギョウザ(113.0%)などであった。

減少したのは、炒飯(9,544 トン減、89.4%)、中華めん(1,342 トン減、98.1%)、鶏唐揚(879 トン減、92.7%)などであった(ただし、各分類中の「うち～、その他の～」を除く)。

小分類の品目別生産量における上位 20 品目を見ると、引き続き、1 位うどん、2 位コロツケ、3 位ギョウザ、4 位炒飯、5 位中華めん、上位5品は前年と同様の順位であった。その他、カツ(8 位から 6 位)、おにぎり(16 位から 15 位)が順位を上げた。(小分類の品目別詳細は別添資料を参照)

表-4 品目別生産数量・金額

			水産物	農産物	畜産物	調理食品			菓子類	合計
						フライ類	フライ類以外	小計		
数量	トン	業務用	28,335	49,454	2,290	230,504	472,777	703,281	30,427	813,787
		家庭用	8,395	15,082	1,324	83,422	636,048	719,470	16,114	760,385
		合計	36,730	64,536	3,614	313,926	1,108,825	1,422,751	46,541	1,574,172
	構成比率	業務用	77.1%	76.6%	63.4%	73.4%	42.6%	49.4%	65.4%	51.7%
		家庭用	22.9%	23.4%	36.6%	26.6%	57.4%	50.6%	34.6%	48.3%
		合計	92.1%	105.9%	100.3%	101.3%	102.3%	102.0%	105.7%	101.9%
	前年比	業務用	92.1%	105.9%	100.3%	101.3%	102.3%	102.0%	105.7%	101.9%
		家庭用	93.7%	78.1%	109.1%	109.8%	102.9%	103.7%	100.2%	102.8%
		合計	92.4%	97.8%	103.3%	103.5%	102.6%	102.8%	103.7%	102.4%
金額	百万円	業務用	33,804	15,688	1,495	122,178	211,468	333,646	27,260	411,893
		家庭用	11,700	6,497	1,257	70,975	345,462	416,437	9,935	445,826
		合計	45,504	22,185	2,752	193,153	556,930	750,083	37,195	857,719
	構成比率	業務用	74.3%	70.7%	54.3%	63.3%	38.0%	44.5%	73.3%	48.0%
		家庭用	25.7%	29.3%	45.7%	36.7%	62.0%	55.5%	26.7%	52.0%
		合計	93.2%	110.9%	102.4%	103.4%	104.7%	105.9%	99.1%	103.1%
	前年比	業務用	93.2%	110.9%	102.4%	103.4%	104.7%	105.9%	99.1%	103.1%
		家庭用	96.6%	88.4%	110.5%	108.8%	111.0%	110.8%	102.6%	109.6%
		合計	94.1%	103.2%	105.9%	105.3%	108.5%	108.6%	100.0%	106.4%

2. 輸入

(1) 冷凍野菜

財務省貿易統計による令和 7 年(1~12 月)の我が国の冷凍野菜輸入量は 1,224,678 トン(104.9%)、輸入額は 3,343 億円(100.9%)とともに統計開始以来最高を更新。

輸入量が目立って増加した主な品目は、ブロッコリー(15,646 トン増、119.6%)、ポテト(25,781 トン増、106.1%)、ほうれん草(3,356 トン増、105.9%)など。えだまめ(2,326 トン減、96.4%)、いんげん(323 トン減、98.6%)などが減少した。

主な輸入先のうち、中国(47,911 トン増、108.0%)、アメリカ(9,931 トン増、103.5%)、エクアドル(7,566 トン増、122.8%)は増加したが、ベルギー(7,848 トン減、82.5%)、オランダ(10,051 トン減、80.1%)は減少した。

表-5 輸入量・金額推移

年度	数量		金額	
	トン	対前年比	百万円	対前年比
2021年	1,072,390	103.8%	203,394	108.9%
2022	1,149,097	107.2%	282,203	138.7%
2023	1,119,589	97.4%	304,224	107.8%
2024	1,167,507	104.3%	331,186	108.9%
2025	1,224,678	104.9%	334,265	100.9%

表-6 国別の輸入量推移

年度	中国		アメリカ		エクアドル		その他	
	トン	対前年比	トン	対前年比	トン	対前年比	トン	対前年比
2021年	502,012	106.4%	296,766	95.1%	30,373	107.8%	243,239	113.8%
2022	534,876	106.5%	306,604	103.3%	37,856	136.9%	251,013	108.1%
2023	549,853	102.8%	274,779	89.6%	30,364	102.5%	236,943	94.4%
2024	601,994	109.5%	284,220	103.4%	33,172	109.2%	236,049	99.6%
2025	649,906	108.0%	294,151	103.5%	35,193	106.1%	245,428	104.0%

(2) 調理冷凍食品

令和 7 年の調理冷凍食品輸入量は 230,475 トン(105.2%)、金額は 1,694 億円(99.6%)。数量は 2 年連続で増加し、金額は 1 年ぶりに減少した。

輸入量のうち、業務用は 184,681 トン(104.9%)、家庭用 45,794 トン(106.2%)となり、金額では業務用は 1,288 億円(98.8%)、家庭用は 406 億円(102.3%)と、業務用は、数量が増加、金額は減少し、家庭用は数量、金額ともに増加した。

国別では、主要な輸入先の中国(3,482 トン増、103.6%)、タイ(366 トン増、100.4%)は数量、金額とも増加した。

なお、この調査は、当協会会員社のうち、輸入調理冷凍食品を取り扱っている 33 社を対象にしたものであり、我が国の調理冷凍食品輸入の全体の状況を示すものではない。

表-7 輸入量・金額の推移

年度	数量		金額	
	トン	対前年比	百万円	対前年比
2021年	236,142	92.6%	154,390	98.4%
2022	233,578	98.9%	160,331	103.8%
2023	215,230	92.1%	163,099	101.7%
2024	219,153	101.8%	170,017	104.2%
2025	230,475	105.2%	169,394	99.6%

表-8 業務用・家庭用別輸入量

年度	業務用			家庭用		
	トン	対前年比	構成比	トン	対前年比	構成比
2021年	179,736	89.3%	76.1%	56,406	105.4%	23.9%
2022	188,791	105.0%	80.8%	44,787	79.4%	19.2%
2023	178,494	94.5%	82.9%	36,736	82.0%	17.1%
2024	176,017	98.6%	80.3%	43,136	117.4%	19.7%
2025	184,681	104.9%	80.1%	45,794	106.2%	19.9%

表-9 業務用・家庭用別輸入額

年度	業務用			家庭用		
	百万円	対前年比	構成比	百万円	対前年比	構成比
2021年	112,694	94.1%	73.0%	41,696	112.2%	27.0%
2022	124,576	110.5%	77.7%	35,755	85.8%	22.3%
2023	129,202	103.7%	79.2%	33,897	94.8%	20.8%
2024	130,375	100.9%	76.7%	39,642	116.9%	23.3%
2025	128,835	98.8%	76.1%	40,559	102.3%	23.9%

表-10 国別の輸入量推移

年度	中国		タイ		ベトナム		その他	
	トン	対前年比	トン	対前年比	トン	対前年比	トン	対前年比
2021年	114,911	110.3%	95,921	98.0%	10,500	97.3%	14,810	35.3%
2022	114,942	100.0%	93,170	97.1%	10,405	99.1%	15,061	101.7%
2023	95,041	82.7%	90,465	97.1%	9,878	94.9%	19,846	131.8%
2024	95,814	100.8%	93,227	103.1%	10,017	101.4%	20,095	101.3%
2025	99,296	103.6%	93,593	100.4%	9,182	91.7%	21,048	104.7%

表-11 国別の輸入金額推移

年度	中国		タイ		ベトナム		その他	
	百万円	対前年比	百万円	対前年比	百万円	対前年比	百万円	対前年比
2021年	58,039	117.3%	67,192	112.1%	6,141	111.6%	23,018	54.9%
2022	64,158	110.5%	70,344	104.7%	6,543	106.5%	19,286	83.8%
2023	59,351	92.5%	73,865	105.0%	7,056	107.8%	22,827	118.4%
2024	62,729	105.7%	77,622	105.1%	7,067	100.2%	22,599	99.0%
2025	61,671	98.3%	75,785	97.6%	8,194	115.9%	19,387	85.8%

3. 国内消費

当協会では、「冷凍食品国内生産量」「冷凍野菜輸入量」及び「調理冷凍食品輸入量」の合計を冷凍食品の「消費量」としている。

令和 7 年の我が国の冷凍食品消費量は、国内生産量 1,574,172 トンに、冷凍野菜輸入量 1,224,678 トンと、調理冷凍食品輸入量 230,475 トンを加えた 3,029,325 トン(103.6%)と増加した。300万トンを超えたのは、調査開始以来初である。これを総人口(123,219 千人)で割った国民 1 人当たりの年間消費量は、24.6kg(1.0kg 増)と増加した。また、金額ベースでも 1 兆 3,614 億円(104.1%)と増加した。

なお、前述のように調理冷凍食品の輸入については、当協会会員だけを対象にした調査であり、会員以外の商社、流通業者等が輸入しているものを考慮すると、実際の「消費量」はこの 303 万トンを上回るものと考えられる。

表-12 数量

年度	国内生産量	冷凍野菜 輸入量	調理冷凍食品 輸入量	合計(消費量)		国民1人 当たり消費量
	トン	トン	トン	トン	対前年比 (%)	kg
2021年	1,587,091	1,072,390	236,142	2,895,623	102.0	23.1
2022	1,598,808	1,149,097	233,578	2,981,483	103.0	23.9
2023	1,545,568	1,119,589	215,230	2,880,387	96.6	23.2
2024	1,537,854	1,167,507	219,153	2,924,514	101.5	23.6
2025	1,574,172	1,224,678	230,475	3,029,325	103.6	24.6

※総人口:123,219千人(令和7年10月1日確定)

表-13 金額

年度	国内生産額	冷凍野菜 輸入額	調理冷凍食品 輸入額	合計	
	百万円	百万円	百万円	百万円	対前年比(%)
2021年	734,266	203,394	154,390	1,092,050	104.6
2022	763,926	282,203	160,331	1,206,460	110.5
2023	779,905	304,224	163,099	1,247,228	103.4
2024	806,449	331,186	170,017	1,307,652	104.8
2025	857,719	334,265	169,394	1,361,378	104.1

【別添資料】

1. 冷凍食品の国内生産及び消費
2. 品目別国内生産
3. 品目別国内生産及び構成比率と 1kg 当たり金額
4. 国内生産量上位 20 品目(2020 年～2025 年推移)
5. 日本の冷凍野菜品目別生産国別輸入
6. 調理冷凍食品輸入

《問い合わせ先》

一般社団法人 日本冷凍食品協会

〒104-0045 東京都中央区築地 3 丁目 17 番 9 号興和日東ビル 4 階

総務企画部企画調査課

TEL:03-3541-3003

FAX:03-3541-3012